

日交研シリーズ A-803

平成 31 年度共同研究

「これからの道路交通政策－駐車場計画地域ルールの道路・交通・運輸管理－」

刊行：2021 年 5 月

これからの道路交通政策
－駐車場計画地域ルールの道路・交通・運輸管理－
The Future of Road Transport Policy
－Road Traffic Management of Regional Rules for Parking Plans－

主査：高田邦道（日本大学名誉教授）

Kunimichi Takada

要 旨

本研究は、地域ルールにおいて改善される道路交通の諸問題の対応への考え方を取りまとめたものである。地域ルールとは、都市再開発地区整備において大規模建築物の附置義務駐車スペースを都市鉄道などの整備度によって減免し、減免効果の一部を対象地域の地区交通改善に用いることである。その中で、民間が主導的に行う、道路・交通・運輸管理の方法論とその課題を取りまとめたものである。特に、『民』が主体でおこなう、歩行者通路、駐車スペースと車両通路の関係、駐車場間の通路についての運用上の課題、歩行者専用道路の実現のための道路管理、交通管理、運輸管理の問題点を検討したものである。具体的には、千代田区大手町・丸の内・有楽町地区（大丸有モデル）を対象にし、地域内のビル同士あるいはビルと鉄道駅を結ぶ歩行者通路、駐車場間の行き来の地下通路、など地域内の交通ルールのあり方の検討、地区内を走る無料バスの自動運転化、駐車スペースの有効利用を図るバレーパーキング（車庫収納自動化）の可能性を検討してある。

キーワード：歩行者通路、貨物車及び乗用車通路、無料バス及びタクシーの自動運転化、バレーパーキング（車庫収納自動化）

Keywords : Corridor for pedestrians, Corridor for trucks & passenger cars,
Driverless for bus & taxis, Automated Valet Parking system